

25 多良木相良氏関係史跡



相良氏が鎌倉時代に下向した後、地域開発の拠点であった館跡と開削した灌漑用水路などの史跡。

28 城泉寺・八勝寺阿弥陀堂



在地豪族久米氏が建立したとも言われ、以後も相良氏の保護を受け、中世の景観を今に伝える。

31 市房山神宮



郡内最高峰の市房山を信仰の対象とした神社。民衆も「お嶽さん参り」と称してしばしば参詣した。

34 人吉球磨の民謡



民衆の生活から生まれ、長く唄い継がれてきた民謡。人々が集まると誰ともなく自然と唄われ始める。

37 庚申信仰と庚申塔



戦国期以降に流行した庚申信仰に関わる塔。「庚申」と刻んだ文字塔と「青面金剛」などの像などがある。

40 臼太鼓踊り



相良氏が武道や士気に通じるとして奨励したとされる。領民によって伝承され、今に残っている。

43 おくんち祭り



相良氏統治時から続く青井阿蘇神社の秋の例大祭。

46 荒田大王神社



相良氏が滅ぼした在地豪族の平河氏の霊を鎮めるために建立した神社。

49 上村相良氏関連遺跡



戦国時代、相良氏の庶流から本家を相続した上村氏の城跡・墓など。

52 岡留熊野座神社



第3代頼俊が、鎌倉時代後期の蒙古襲来に際し、強敵を退け国家安定を祈って創建したとの由来を持つ。

55 市房山神宮中宮(一の宮神社)



市房山神宮の造営の際に置かれた仮殿跡地に霧島神宮の神を勧請。お嶽さん参りの休憩地でもあった。

26 久米治頼神社



当主に反乱を起こして滅ぼされた相良治頼とその母を供養するため、戦国時代に建立された神社。

29 御大師堂



郡内で領主から民衆まで広まっていた大師信仰を受け、大切に守られてきた大師堂と御大師様。

32 球磨焼酎



米を主原料とした焼酎。相良氏にも認められ、庶民にも愛飲されてきた。450年以上の歴史を誇る。



35 焼酎墓

酒好きの人間だったことを思わせる戒名や、「とっくり」状の墓石など、地域に根付く焼酎文化を伝える墓。

38 相良三十三観音めぐり



家老井口氏により三十三観音が選定された。各札所は住民の精神的な拠り所として信仰され続けている。

41 球磨川



交通および米や木材などの輸送にも利用されてきた。水運の伝統は「球磨川くだり」に受け継がれている。

44 人吉藩鼓笛隊



幕末に薩摩藩の影響で英国式兵制を取り入れた際に組織された。音色から「ヒーロイロイ」と呼ばれた。



47 荒田観音堂の釈迦如来像

相良氏入国前の在地豪族である平河氏が造立したと考えられる平安仏。

50 白髪神社



青井阿蘇神社の流れをくむ神社で、上村相良氏の氏神社。安産や慈雨の神として祈願がなされてきた。

53 深田大王神社(深田阿蘇神社)



相良氏が滅ぼした在地豪族の平河盛高の霊を鎮めるために建立。現在は深田阿蘇神社に合祀されている。

56 お嶽さん参り



球磨郡内の最高峰である市房山への参詣のこと。相良氏が領民に勧めてきた。

27 槻木御大師堂の弘法大師像



郡内における民衆の大師信仰の広まりを受け、室町時代前期に相良氏を願主として造られたもの。

30 生善院観音堂



「化け猫伝説」が残る観音堂。藩主が市房山神宮参詣時に立ち寄っていた。「狛猫」が参拝客を迎える。

33 百太郎溝と幸野溝



領内の米生産を支え、今もなお役割を果たす長大な灌漑用水路。長い年月をかけ難工事の末に完成した。

36 球磨拳



じゃんけんのルールとも言われる遊び。宴会では負けた方が焼酎を飲むが、わざと負ける者もいたとか。



39 球磨神楽

青井阿蘇神社おくんち祭りの宵宮奉納を皮切りに、郡内43神社で奉納されてきた神楽。

42 永留相良氏城郭群



第2代相良頼親を祖とする永留相良氏が人吉城に拠点を移すまで、勢力の伸長とともに築きあげた城。

45 岩城跡



別名、木上城。江戸時代の「球磨絵図」にも記される中世山城で、在地豪族の平河氏の居城であった。

48 タイ捨流剣法



戦国時代、丸目藏人佐長恵によって創始された剣術。相良家や藩士が学んでいた。

51 谷水薬師堂



室町時代の創建と伝えられる上村氏の菩提寺、東門寺の堂舎の一つ。上村氏滅亡後に相良氏が再興した。

54 市房山神宮下宮(里宮神社)



市房山にある本宮まで登ることができない人々が詣でる神社。

57 相良氏関連古道



人吉球磨に通じる古道。人々が交流し、有形・無形の文化をもたらした。